

# 進路だより

宮城県立名取支援学校

ホームページアドレス <http://www.natoriyogo.myswan.ne.jp>

メールアドレス [chief@natoriyogo.myswan.ne.jp](mailto:chief@natoriyogo.myswan.ne.jp)

進路指導部 H28. 12. 21

## 進路事例発表会

12月8日(木)高館公民館ホールを会場に進路事例発表会を開催しました。宮城県立特別支援学校進路充実事業として、地域の中学校特別支援学級の保護者や福祉サービス事業所の方にも参加いただき、企業に就労した卒業生の事例を紹介しました。高等部の就労コースの生徒も参加し、先輩の話を聞きました。

今回は、川崎町にあるライフフーズ株式会社仙台ファクトリーに今春就職した卒業生の事例を発表しました。講師として、職場からは水野さんとマネージャーの市山様、就労支援機関の立場から県南就業・生活支援センターコノコの鈴木様をお迎えしお話をうかがいました。

ライフフーズは、ポテトサラダや餃子などヨークベニマルの総菜を作っている工場です。仙台ファクトリーでは350名を超す従業員が働いています。

卒業生の水野さんを中心に、インタビューしながら紹介しました。就業体験から就労までのお話では、高等部1年生でときどきしながら初めての就業体験に臨んだ当時の気持ちをお話いただきました。高等部2年生になり、現在勤務しているライフフーズ仙台ファクトリーで実習することになりました。



仙台ファクトリーでは、障害者は本校の卒業生を中心に洗浄部門で働いています。総菜を入れてヨークベニマル各店舗に届けるコンテナケースを洗浄しています。宮城県内全店舗から返却されたケースを、専用の洗浄機械に投入します。洗浄されたケースは、止まることなく洗浄機械から排出口に流れてきます。取り出したケースを台車に重ねます。卒業生は、初めての実習でこの洗浄作業に取り組みましたが、スピードについていくことが難しく悩んだようです。一方、洗浄部門は人数が多くなってしまい、新たな雇用は難しい状況でした。

そこで、工場内全工程を見学させていただき、総菜ラインの袋詰め作業を試してみることにしました。ビニル袋の口を絞って結ぶ作業に手間取って、なかなか結べませんでした。周囲の方のスピードについて行けず、総菜加工ラインの仕事も難しいかと思われました。卒業生も、うまくできなくて悔しい気持ちだったそうです。袋の結び方の作業をスムーズにできるように、実習が終わってから毎日学校で練習しました。保護者にも協力いただき、家庭でも練習しました。練習を積み重ねた努力が実り、次の実習機会までになんとか止まらずに結べるようになってきました。



この他、袋を結ぶ作業以外にも総菜を一定量を量って袋に入れる作業に取り組んでみたところ、適量を量って袋に入れることができました。実習期間だけでなく毎日練習を積み重ねた本人の努力と、職場の方との情報交換から適性を見いだすことができたことにより、総菜の製造ラインで作業できるようになりました。3年生での最後の実習も無事終了、工場で働ける見通しがつきました。その後、面接試験を経て採用が決定しました。採用が決まったときは、本当にうれしくて、家族も一緒に喜んでくれたそうです。入社当初は、流れに乗るまで時間がかかったそうですが、現在はだいぶ慣れて製造ラインの仕事に頑張っているとのことでした。

事前に在校生から出ていた質問にも答えていただき、給料のことや勤務時間のこと、休みの日の過ごし方などにも一つ一つ丁寧に答えていただきました。「学校との違い」については、「土日仕事があること。」「つらかったことはありませんか?」という質問については、「はじめは作業もうまくいかず、強めに注意され不安になったこともありました。でも、まわりのみなさんに励まされ元気になりがんばることができました。」と胸の内を話していただきました。

鈴木様からは、支援者の立場から余暇の過ごし方の例やジョブコーチ等の就労支援制度、さらには障害年金申請にあたっての相談事業所の紹介のことなどご説明いただきました。

最後に、卒業生にはこれからの目標と後輩へのアドバイスをいただき、「仕事の速さがおいつけていないので、今後に向けてがんばりたいです。他の人と同じペースでできるようにがんばりたいと思います。後輩の皆さんには、最初は難しいと思いますが、会社の人や家族からのアドバイスを聞いてしっかり取り組んでください。また、体調に気をつけながら、休まないで出勤することが大切です。がんばってください。」と力強く話してくれました。

## == 進路情報 == 仙台市内にある障害福祉サービス事業所の紹介

### ビッグママ（太白区長町）

「ビッグママ」は、就労継続支援B型事業として平成23年に長町に設置されました。こちらの事業所では、知的障害・身体障害・精神障害のある利用者の皆さんが、パンの製造・販売、寺院の清掃作業、エコクラフト作成などを行っています。パンを買うお客様や清掃先のお客様に満足してもらえるように、サービスを提供する側も受ける側も、ともに「喜び」を得られるような温かい活動の場を目指しているそうです。

### せんしょう庵（太白区長町）

太白区長町にある就労継続支援B型の事業所です。業者から委託されたリース枕のリニューアル作業を行っています。白い布で作られた袋の中に、プラスチックパイプを入れて枕として仕上げていく作業です。また、団子の製造・販売も行われています。注文をいただいてから、お客様の目の前でタレを付けて販売し、お持ち帰り頂く仕事です。地域との交流、利用者一人ひとりを大切にしたいサービスを目指している事業所です。

### びすた〜りフードマーケット（太白区長町）

平成21年に設立された就労継続支援B型事業所です。ファームでの野菜作り、収穫した野菜の仕分けや加工品製造、お店での販売などが行われています。また、平成26年9月には、長町病院1階にランチメインのカフェ「JhoJho」を開設し、ファームで栽培した野菜がたくさん食べられるランチが人気です。仕事をとおして、社会人として自立できるように支援が行われている事業所です。

### こぶし（太白区門前町）

こぶしは、太白区門前町にある生活介護事業所です。年齢も障害の重さも様々な利用者さんたちが、受託作業や手芸活動、レクリエーション等に元気に取り組んでいます。特に、建築廃材を利用したモザイクタイルのエコ平板はこぶしの玄関にも埋め込まれていて、公園の敷地部分や街路部分にも使用されているそうです。それぞれの利用者さんが持っている力、長所を大切にしながら、自分で選び、自分で決めることができるような支援を目標にされている事業所です。

### まどか袋原（太白区袋原）

太白区袋原にある広々とした建物で、就労移行支援事業、就労継続支援事業B型、生活介護事業が行われています。施設の正面にはおしゃれなベーカリーカフェ「ぶらん」があり、利用者さんが作ったパンが販売され、その場で楽しむことができます。その他に、和紙を丁寧に貼ったクラフト工芸や利用者さんの描いた絵を印刷したTシャツやバックの製作、一般就労へ向けた清掃活動などが行われています。

### わらしべ舎西多賀工房（太白区西多賀）

国道286号線沿いの「カレー桜蔵」の大きな看板が目印のわらしべ舎西多賀工房は、就労継続支援B型と生活介護の事業が行われています。カレー班、石けん班、エコ班に分かれてわらしべ舎ブランドの製品を作ったり、地域に根ざした環境活動を行ったりしています。事業所では利用者の方々の力を引き出し、健康に自分らしく生活できるような支援を目指しているそうです。

### フォレスターナ若林（若林区卸町東）

平成27年4月に開所した生活介護事業所です。卸町の工場地帯の中にありますが、木に囲まれた緑豊かな環境の中にあり、ウッドデッキや畳敷きのスペースもあるきれいな建物です。活動は、各種創作活動やアイロンビーズ、体操や散歩などで、その方に合わせたプログラムを立てて支援を行っています。また、バスによる送迎も広範囲に渡って行われているほか、タクシー会社とも業務委託し、ヘルパー資格を持つドライバーさんが仙台市内各所に送迎を行っており、安心して通える工夫がなされています。

## 進路ごよみ

12/21（水） 進路だより発行  
1/23（火）～31（火） 高2進路相談

